

いこま

近畿大学奈良病院 広報誌

ご自由にお取り下さい。

2023年 11月発行 Vol.25



コロナとの闘い ～近畿大学奈良病院の3年間～

広報委員長・放射線科 / 岡嶋 馨



2020年1月の国内初感染のあと新型コロナウイルス感染症は我々の生活様式を一変させ、観光や学会、スポーツや学校生活などは以前のものとまったく異なっています。学生さんの中では、入学後は常に制限下にあったという意味で現在の大学1年生と4年生をフルコロナ学年と呼ぶそうです。それほど長期に多大な影響を受けてきたわけですから、全国の医療従事者の辛苦は大変なものだったと推察されます。

近畿大学奈良病院においてもどの職員にも苦悩がありました。対策においては特に感染制御部、救急部や外来で前面に立った看護師、核となった医師、検査部、などが中心となりましたが全職員それぞれの努力があり、克服の過程で得た教訓も多々あります。

当院でもまず検査体制を整え2020年当初から発熱外来に全員が参加しておりましたが(図1)、病院にとって

に大きな出来事は、2020年7月に起こった病棟での感染と、2021年2月の入院受入れの開始でした。

2020年7月の職員と入院患者様の感染はテレビでも報道され多くの皆様にご迷惑をおかけしましたが、職員と患者様1,800名のPCR検査を全員が協力して行い(図2と3)なんとか無事を確認できました。

また2021年2月に救命科の病棟を一部変更して中等症・重症患者様の入院受入れを開始し現在まで継続しております。国内ではコロナ感染症を5類感染症扱いとすることになったこの機会に、担当者の心労と努力に対する敬意を記憶する意味もあって今回は担当病棟の声を掲載しました。

地域の皆様にとって至らなかった点やご迷惑をおかけした点は多々あるかと存じますが、当院職員としてはベストを尽くすことにより得たものも数多く、医療人としての進歩や達成感を想起するページになれば幸いです。



▲図1 2020年5月9日
偶然発熱外来にいた岡嶋と村木病院長



▲図2 2020年7月12日
病院職員全員と、患者様に対するPCR検査：
救急外来前：来院者の検査



▲図3
同じく地下1階ヤードのドライブスルー検査場

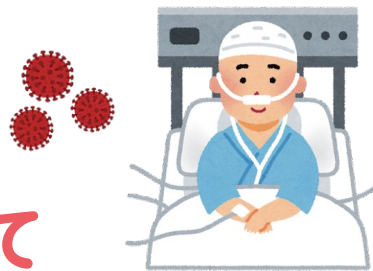
CONTENTS

- P1 コロナとの闘い ～近畿大学奈良病院の3年間～
- P2 P3 救命救急センター 重症コロナ対応について
- P4 アラジール症候群について

- P5 形成外科・西川侑輝先生が最優秀論文賞を受賞されました！
日本VR医学会が開催されました！
- P6 近畿大学医学会 論文賞
- P7 栄養だより・薬剤コラム
- P8 近畿大学病院&近畿大学奈良病院のイベント・編集後記

救命救急センター

重症コロナ対応について



救命救急センターでは、2021年2月25日から新型コロナの重症～中等症患者の受け入れを開始しました。
(新型コロナのデルタ株が流行する2～3ヶ月前の頃です。)

受け入れを開始するまでには、様々な問題を乗り越える必要がありました。5類となっただけで当時のことを一度振り返りたいと思います。

ベッド配置

一般救急患者用ベッド 14床 → 7床

新型コロナ患者用ベッド 0床 → 6床

💡 受け入れのための医療機器を
購入・設置

💡 受け入れマニュアルを作成

💡 レイアウト大幅な変更

受け入れ当時のメンバーです♪



新型コロナ重症～中等症の
受け入れ準備が大変でした😓

💡 レッドゾーン区域分け



before 器材庫



after コロナ対応NS 仮眠&休憩室



ベッドも
2台あります

before 大部屋



after 新型コロナ重症病床



モニター・重症記録
PCもあります！

💡 新型コロナ用点滴台



受け入れ開始より**日記**を記載し、コロナに関する情報や
お互いの気持ちを共有していました。

下記は、その内容の一部です。



コロナ受け入れ開始

昨日よりコロナ患者受け入れ開始となった。コロナ患者の対応をしていくにあたって、不安や緊張はあるが、感染予防を徹底し、コロナ禍を乗り越えていきたい。とても怖い。

初めての患者

コロナ担当を任命され、本日初めてコロナ陽性の方を受け持たせていただくことになった。初めてのことで不安な上、コロナ陽性の患者さんの対応ということで胸がドキドキして張り裂けそうだった。でもがんばらないと。

コロナ患者退院

今日患者さんが退院しました。何事もなく退院となって本当に良かったです。ストレスが溜まっていると思うので家で発散してほしいです。

コロナ患者状態悪化

危惧していたことが起こりました。患者の状態が悪化し、人工呼吸器管理となりました。常にリスクは感じていただけに、自分の至らなさに悔しさを感じました。まずは患者さんの病状の安定・改善を強く目指してそして次にこのようなことが無いように出来ることをしていきたい。

これまで約200名の患者を受け入れました。

5類になったとはいえ、まだまだコロナはなくなる様子を見せません。



ちょっと～手伝って～?



鏡で確認！
感染対策OK!



準備万端！
いざ病室へ!

この3年間、コロナ患者さんの受け入れを実施し、
様々な事を経験することが出来ました。
この経験や得た学びを活かして、
これからも患者さんの看護を精一杯頑張っていきます。
これからも、よろしくお願いします!





アラジール症候群 について



小児科

近藤 宏樹



アラジール症候群とは、先天性の超希少疾患で肝内胆管の減少による胆汁うっ滞、特徴的顔貌、心血管系の異常、椎体や眼球の異常を伴います。

病因遺伝子にはいずれもNOTCHシグナル伝達系に属するJAG1遺伝子とNOTCH2遺伝子があります。原因はこれらの遺伝子変異によるものですが、まだ病態が解明されておらず、医師でも知らない人がいるほど認知度が低い病気であり、現在、啓発活動を積極的に行っています。

患者さんやご家族の皆さんが患者会「日本アラジール症候群の会」を立ち上げられ、今年で15年を迎えました。



「日本アラジール
症候群の会」
詳しくはこちら



**患者さんの手記が本年4月に、
たまひよonlineに掲載されたので紹介いたします。**
私もこの中で監修をさせていただきました。

第一回目は
こちら
(3部構成)



前述しましたが、アラジール症候群は、主に「**肝臓**」「**心臓や血管**」「**目**」「**椎骨**」「**顔立ち**」の5つに症状が現れますが、必ずしも5つすべてに症状が現れるというわけではありません。多くの場合見られるのが、**胆汁うっ滞で、黄疸、かゆみ、脂溶性ビタミン吸収障害による出血、骨折**などが起こります。また、胆汁が不足することで、脂質の吸収が悪いために**発達の遅れ**や**成長障害**も見られます。軽症であれば自然に胆汁うっ滞が改善することもあります。

一方、症状が重度で胆管が欠損していたり、また胆管はあるが非常に細かったりする場合、胆汁うっ滞や成長障害、肺合併症が顕著となり**肝移植**が行われます。その他、痒みなどの症状が著しく、QOL(生活の質)が低下した場合にも肝移植が行われます。日本におけるアラジール症候群の肝移植は、他の疾患と比較して成績は良いです。

アラジール症候群は非常に稀な病気のため、まだこの病気を診たことがない医師が多く、認知度が低い原因となっています。現在、私たちは**アラジール症候群など小児の希少難病を多くの医師に知ってもらうために、大人と子どもの学会が協力して小児から成人への移行期医療(トランジション)を整備したり、疾患の周知活動を進めています。**また、新薬の開発が望まれますが、現在、痒みの症状に対しての新薬の治験が進んでおり、間もなく世に出ると期待しています。



形成外科・西川侑輝先生が 最優秀論文賞を受賞されました！



近畿大学奈良病院 形成外科・美容外科の西川侑輝です。

この度、日本創傷外科学会にて2022年度原著部門で最優秀論文賞を頂きました。論文のタイトルは「**今後治療開発に向けたケロイドモデルの作成とその意義**」です。

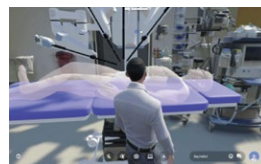
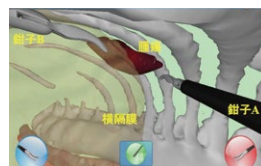
ケロイドは**ヒト特有の難治性疾患**であり、ケロイドを完全に再現できる実験動物モデルは未だに開発されていません。そのため、現在ケロイド治療法に関するエビデンスの多くは症例報告の結果に基づいています。ケロイドの治療方法を組み合わせた現在の治療では、再発のリスクが高く、**ケロイド治療の改善方法**が模索されています。新たな治療薬を開発するうえで、**ケロイドを評価するための動物モデル**は必要不可欠です。この研究で、ケロイド組織を選定し、2系統の免疫不全マウス(ヌードマウスとNOD/scidマウス)の皮下に移植し、比較検討しました。免疫組織学的検討の結果、NOD/scidマウスに移植した組織は11週間生存し、さらに移植組織の一部は増大しました。**短期間(11週以内)での治療効果を検討する際、NOD/scidマウスを用いた実験系の高い有用性を示しました。** (形成外科・美容外科 / 西川 侑輝)



日本VR医学会が開催されました！

去る8月26日、当院呼吸器外科の塩野裕之会長のもと、**第22回日本ヴァーチャルリアリティ(VR)医学会**が大阪科学技術センターで開催されました。日本VR医学会は、**VR技術の開発と医療への応用を考える会**です。**手術や静脈穿刺シミュレーション、メタバース空間での看護教育やリハビリ**など、医療現場へ広く応用され始めています。

日本VR医学会のホームページはこちら
<https://www.jsmvr.org/>



当日は工学研究者や臨床医、看護師、PT、CEなど例年をはるかに超える150名超の参加があり、**工学領域の研究発表やさまざまな応用事例の紹介**、さらに**ゴーグルを装着しての体験会**などが行われました。当院からは病理部の若狭先生、看護部から久保さんや池本さんが参加しました。

あなたも職場にVRを取り入れてみませんか？

(文責：塩野/武隈)

近畿大学医学会 論文賞



優れた論文に送られる
「近畿大学医学会賞」・「近畿大学医学会奨励賞」を
2名の先生が受賞されました！



放射線科

井上 恵理 先生



いこまをご覧の皆様、こんにちは。近畿大学奈良病院で放射線治療を担当しております井上です。私たちの仕事は、放射線治療の適応の判断や治療が決まった人の照射範囲の決定(治療計画)などです。

今回、論文「Dose-volume Histogram Analysis of Knowledge-based Volumetric-modulated Arc Therapy Planning in Postoperative Breast Cancer Irradiation」が近畿大学医学会賞を受賞し大変光栄に思います。この論文は放射線治療計画立案に際する人工知能(AI)の活用に関し、特に乳がんについて報告したものです。端的に申し上げますと、乳がんの乳房温存術後は放射線治療を行うのが一般的ですが、その治療計画を学習したAIが短時間で我々治療医の作成する治療計画と遜色ないものを作成したという内容です。本論文の照射方法では肺に放射線が当たってしまう事もあり実用化にはまだ程遠いと思いますが、それでもAIの新たな可能性を見ることができました。

将来、医療とAIは切り離せないものになり、現在我々が地道に日々行っている治療計画立案の効率化や安全性向上にもきっと寄与することでしょう。放射線治療に携わる医療チームの知識・スキルにAIの力を組み合わせ、患者様へよりよい治療を提供することができるようこれからも日々邁進してまいります。

皮膚科

大月 麻衣 先生



近畿大学医学部奈良病院皮膚科の大月です。

この度は近畿大学医学会奨励賞を頂き、誠に名誉に思います。

皮膚科で扱う水疱症の中でも特に稀な疾患に携わる機会がありまして論文発表させていただきました。

指定難病でもある水疱症は様々なタイプがあり、治療法が異なることもあるため、診断が大事になります。この論文が診断に苦慮される水疱症患者さんの為になれば幸いです。

これからも患者さん第一で診療に臨みたいと考えております。

最後になりましたが論文執筆にあたりご指導いただきました大阪公立大学皮膚科の先生方、近畿大学皮膚科の大磯先生、川田先生、大塚先生、共著の先生方、本当にありがとうございました。

これからも診療に真摯に取り組んで参りますのでご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

栄養だより

フレイル予防のために

フレイルとは、「Frailty(虚弱)」が語源となっており、病気ではないけれど心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のことをいいます。フレイルの有症率は65歳以上の高齢者全体では11.5%(予備群32.8%)で、加齢に伴い有症率の増加が認められています。(2016年厚生労働省より)



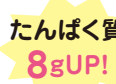
フレイル予防の食事で大切なこと

- ➡ 低栄養による「やせすぎ」を防ぐこと
特に筋肉のもとになるたんぱく質が不足しないようにしっかりとる

たんぱく質を増やす工夫



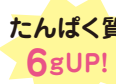
バター
トースト



たんぱく質
8gUP!
ハムエッグ
トースト



わかめ
うどん



たんぱく質
6gUP!
きつね
うどん

フレイルを防ぐ朝ごはん向きの主菜レシピ

じゃこほうれん草の卵炒め

たんぱく質は
朝食で不足しがち

冷凍のものを使用することで
より簡単に調理できます



材料/2人分

卵(割りほぐす) …… 2個
ちりめんじゃこ …… 30g
冷凍ほうれん草 …… 150g
ミニトマト …… 100g
サラダ油 …… 大さじ1
しょうゆ …… 小さじ1
塩 …… 少量

作り方

1. ミニトマトはへたを除いて縦半分に切る。
2. フライパンに油を中火で熱し、ほうれん草、ミニトマト、ちりめんじゃこを入れて炒める。
3. 全体に油がまわったら、しょうゆを加える。
4. 卵をまわし入れ大きくかき混ぜる。味をみて足りないようなら塩で味をととのえる。



1人分

カロリー 193kcal
食塩相当量 2.0g
たんぱく質 13.6g

※腎機能低下などでたんぱく質の制限が必要な方は医師や管理栄養士にご相談ください

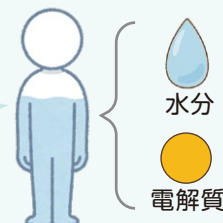
(文責：栄養部 八幡 紀香)

薬剤コラム

薬の基礎知識

～脱水と薬剤～

今回は「脱水」と薬剤についてとりあげたいと思います。人間の身体の多くの割合を水分が占めています。この水分は「体液」と呼ばれ、水だけではなく電解質を含み、身体にとって大事な役割を担っています。「脱水」とは、この「体液」、水と電解質が同時に失われた状態を指します。



脱水と薬剤

「脱水」の原因に、薬剤がかかわっている場合があります。以下のような薬剤を服用されている方は注意してください。

種類	主な薬剤名	理由
利尿剤	フロセミド錠、サムスカ®錠など	身体の水分を排泄する
漢方薬	麻黄配合のもの	発汗を促し脱水を起こしやすくする
下剤	プルゼニド錠など	下痢が続くと脱水が起きる可能性がある
下痢の副作用のある薬	抗がん剤など	下痢が続くと脱水が起きる可能性がある
糖尿病薬	SGLT2阻害薬配合のもの ジャディアンス®錠など	尿量を増加させる作用がある

脱水と対策

通常の水分補給ではスポーツドリンクで十分ですが、軽度や中等度の脱水では、経口補水液が適しています。経口補水液は、一般的なスポーツドリンクよりも糖分が少なく、電解質濃度が高い組成となっています。経口補水液は一度に飲まずに、少しずつ時間をかけて飲用して下さい。尚、経口補水液は塩分を多く含みます。塩分の摂取制限のある方は、使用の際には十分に注意してください。

(文責：薬剤部 島谷 悠里)



近畿大学病院のイベント



近畿大学医学部・病院×大阪狭山市 共同開催市民公開講座

いつまでも美しい姿勢で歩けるように

2023 11/11(土)
14:00~15:45場所 近畿大学医学部
円形棟大講堂

痛みや歩きにくさに困っていませんか?日常生活に支障が出やすい股関節や、膝、肩の痛み、歩きにくさについて整形外科医が解説します。また、リハビリ運動の実演も。

●直接会場までお越しください

予約不要
無料オンラインでご参加の方はこちら
<https://testkindai.zoom.us/j/92374028716>
※URLは開催日当日のみ有効となります

お問合せ先

「近畿大学病院」

総務広報課

☎ 072-366-0221 (代表)

近畿大学病院

大阪府大阪狭山市にある919床を持つ南大阪エリア唯一の大学病院で当院の関連機関病院です。特定機能病院として、さらに地域がん診療連携拠点病院の指定を受けるなど、がんの診断・治療に注力しております。2025年11月、医学部と共に堺市泉ヶ丘に移転予定となっており、医療サービスの向上はもちろん、今よりもさらに患者さまに近い病院を目指したいと考えています。

HPIはこちら

※パースはイメージです。
今後変更になる可能性があります。

サポートグループ

講師による講話と参加者同士の交流を行い、がんによる様々なストレスに対処する力を高めることを目的とした会です。

※年に2回開催しており、同じ開催内容となります。

対象 がん患者さんやご家族
(全4回受講できる方に限る)

開催方法 対面形式

場所 近畿大学病院内
会場はお申込者に個別でご案内いたします。① 2023 11/11(土) 10:00~11:30
がんについて学ぶ② 2023 11/25(土) 10:00~11:30
毎日の健康状態に対応する方法を学ぶ③ 2023 12/9(土) 10:00~11:30
自分の気持ちを見つめ心身の活気を保つ④ 2023 12/23(土) 10:00~11:30
援助システムと活用できる資源を知るサポートグループの
お申込みはこちら

近畿大学奈良病院のイベント

がん患者サロン 生駒

無料/要予約

がん患者さまやご家族がお互いの経験を語り合い、悩みや不安な気持ちを語り合う交流の場です。お気軽にサロンへお越しください。

対象 がん患者さま及びご家族、
パートナー・友人場所 近畿大学奈良病院
5階 大会議室

① 11/15(水)

② 12/20(水)

14:00~16:00

申込みに関する
お問合せ先近畿大学奈良病院
がん相談支援センター・患者支援センター

☎ 0743-77-0880 (代表)

市民公開講座

11/18(土)
10:00~11:00

無料

現地参加の方は
申込不要

テーマ 脳卒中

場所 近畿大学奈良病院
5階 講堂

お問合せ先

近畿大学奈良病院 総務課
narasoumu@med.kindai.ac.jp編集
後記

2023年夏は記録的な暑さで9月末になってもまだ真夏かと思うほどでしたが、最近になってやっと半袖では寒くなってきました。10月に入ると今度は旭岳・富士山・立山と立て続けに初冠雪を記録し、このままでは秋がなくなってしまう勢いです。近畿大学奈良病院は秋が最もきれいなので毎年この季節を心待ちにしています。

気温が急降下する折、皆様におかれましてはどうかCOVID-19とインフルエンザにはお気をつけ頂きやすらぎに満ちた日々をお過ごしください。

(担当：放射線科 岡嶋 馨)

近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

近畿大学奈良病院

〒630-0293 奈良県生駒市乙田町1248-1 TEL 0743-77-0880
E-mail: infonara@med.kindai.ac.jp <https://www.med.kindai.ac.jp/nara/>発行日 令和5年11月
発行場所 近畿大学奈良病院
編集 広報委員会